

## 平成 30 年度事業報告書

はじめに

平成 30 年 5 月 30 日に第 8 回(通算第 43 回)定時総会を開催し、コンプライアンス(法令順守)、ガバナンス(組織統治)、透明性、公開性を運営の基本に据えた平成 30 年度事業計画が承認されました。

消費低迷、低成長下の経済情勢に加え、民間事業者、NPO、地域福祉団体等のシルバー類似事業への参入による厳しい経営環境にありました。派遣事業収入は順調に伸び、対前年度比+14,431 千円となった一方、請負・委任事業収入については、前年度に比較し-32,043 千円と大きく減少する結果となりました。また、単年度収支は平成 27 年度以降赤字が続き、平成 30 年度は-12,555 千円となりました。この結果、正味財産(繰越金)は 19,625 千円となり、運転資金にも事欠く状況となっており、財政再建が待ったなしの喫緊の課題となっています。

表 1 平成 30 年度の主な業績 (単位:千円)

項目	H30 年度 実績 a	H29 年度 実績 b	H28 年度 実績	H27 年度 実績	比較 a-b
受注金額(千円)	405,582	423,194	426,417	417,850	-17,609
内 請負・委任(千円)	310,641	342,684	373,762	412,273	-32,043
内 派遣(千円)	94,941	80,510	52,656	5,577	+14,431
年度末会員数(名)	901	901	887	855	±0
事故件数(件)	29	22	28	22	+7
単年度収支(千円)(注1)	-12,555	-15,656	-8,991	-2,462	+3,101
正味財産期末残高(千円)	19,625	32,180	47,837	56,828	-12,555

(注1)単年度収支は、ここでは、経常収益から経常費用を控除した額(当期一般正味財産増減額)をいいます。

次に、平成 30 年度に掲げたセンターの 3 つの喫緊の課題(①除草・剪定の見積・単価方式への円滑な移行、②適正就業基準の順守、③逼迫する財政事情)の取り組み状況について述べます。

### ① 除草・剪定の見積・単価方式への円滑な移行について

除草作業については、『シルバー人材センターの適正就業ガイドライン(H28.9.9 厚生労働省・全シ協)』に基づき、平成 30 年 4 月 1 日から、作業が終了した段階で作業実績に基づき請求金額を確定する人工(にんく)計算方式から、請求金額(請負金額)をあらかじめ計算し発注者に事前に示す見積・単価方式に変更しました。

その結果、これまで請負金の請求段階で頻発していた苦情(料金が低い、手際や仕事ぶりが悪い、能率が悪い、休憩ばかりしているなど)は少なくなり、発注者の信頼を得ることができるようになりました。

しかし、事業実績においては、厳しい結果となり、受注金額・件数とも前年度を大きく割り込むこととなりました。この原因の一つは見積方式に転換したことにあります。事前に見積も

りを行う必要があることから、事務処理に手間取り、作業依頼から作業着手までに期間を要したため、依頼をこなせない状況が生じ、受注件数の減につながりました。このほかの原因としては、猛暑により作業環境が悪化し作業効率が低下したことや雑草等の生育が不良であったこと、景気低迷により作業依頼そのものが減少したことなどが考えられます。

2019年度については、平成30年度に現地調査した見積資料が活用できることから事務処理上の問題は克服できるものと考えています。

表2 除草事業実績 (単位:千円)

期間	H30.4～H31.3a	H29.4～H30.3b	増減 a-b	比率 a/b(%)
受注金額	84,420	100,276	-15,856	84.2
受注件数	2,542	3,617	-1,075	70.3

一方、剪定の見積・単価方式への切り替えについては、一定の準備期間を置いたうえで、スタートを切ることとし、作業班会議等で意見集約を図り、当面、現行の人工(にんく)計算方式を継続することとしましたが、いずれ近いうちには、見積・単価方式へ移行していく必要があります。

表3 剪定事業実績 (単位:千円)

期間	H30.4～H31.3a	H29.4～H30.3b	増減 a-b	比率 a/b(%)
受注金額	74,316	79,349	-5,033	93.7
受注件数	2,599	2,877	-278	90.3

また、除草、剪定以外の清掃などの請負業務についても順次、見積・単価方式に切り替えていくことを検討するとともに、すでに単価方式を採用している障子・襖作業や宛名書き・筆耕作業についても、適正な単価となるよう検討していく必要があり、作業班会議等を開催し、意見集約をしております。

② 適正就業基準の順守について

センターでは、国が定めた基準(月10日、週20時間)に従い「適正就業の基準に関する要綱」を制定し、同一会員の就業日数や時間の上限を定めています。また、独自制度として「同一発注者の施設管理業務、検針業務、集金業務等に係る就業」を、5年を限度とする規定を設けています。

<p>適正就業の基準に関する要綱(抜粋)</p> <p>(適正就業基準)</p> <p>第4条 会員は、就業に当たり、次の各号に定める適正就業基準を守って作業に従事しなければならない。</p> <p>(1) 臨時的かつ短期的な就業は、月10日以内であること。</p> <p>(2) 軽易な業務に係る就業は、週20時間を超えないこと。</p> <p>(3) 同一発注者の施設管理業務、検針業務、集金業務等に係る就業は、次のとおりとする。</p>
---

- ア 同一会員の就業は、5年を限度とする。
- イ 6年目については、後任の就業会員を募集又は選考する。ただし、後任者がいないなど特別な事情がある場合には、適正就業委員会の審議を経て、アの会員が6年目も就業することができる。
- ウ 7年目以降についてもイと同様の取り扱いとする。

センターの実態はどうかというと、国のルールを大きく超えて就業している会員がいる一方、長期間にわたって就業がない、あるいはほとんどない会員もいます。特定の作業に就く会員が少ないことや業務を紹介しても不向きであることを理由に断られるなど、理由は様々です。

しかし、会員間に就業の偏りがあることは、配分金の多寡に影響し、不平や不満が生じ、ひいては退会などにつながりかねません。

このルールは、シルバーでの就業の大原則ですが、リアルタイムでの会員の就業実績や就業予定の把握が現システム上では困難なことから対応に苦慮してきました。

このため、適正就業委員会において、新たに会員就業希望業務一覧(就業希望データベース)を構築する方向で、研究・検討を行うこととしました。ただ、国が定めたこの適正就業基準は、約30年前に示されたものであり、今日の労働環境に適しているかどうかについても議論していく必要があります。

なお、同一発注者の施設管理業務、検針業務、集金業務等に係る就業の5年を限度とするルールについては、センターが定めたものであり、実態の把握も容易であることから就業会員の交代を随時進めてまいりました。

### ③ 逼迫する財政事情について

センターの決算状況は厳しく、単年度収支については、平成27年度以降赤字決算となっており、正味財産残高(繰越金)についても現状のまま推移していけば、平成32年度には枯渇し、多額の借入金を起こす必要がでてきます。

表4 センターの決算状況(単位:千円)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
事業収入	436,148	430,355	424,159	412,428	377,711	350,086	319,059
補助金収入	41,285	40,948	37,448	33,907	28,681	25,100	26,672
その他収入	3,540	4,495	5,132	4,361	3,462	2,899	2,796
収入計	480,973	475,798	466,739	450,696	409,854	378,085	348,527
事業費支出	428,284	426,118	422,018	417,906	371,711	342,327	356,972
管理費支出	42,561	39,252	37,739	35,251	47,135	51,414	4,110
支出計	470,845	465,370	459,757	453,157	418,846	393,741	361,082
単年度収支	10,128	10,428	6,982	-2,462	-8,991	-15,656	-12,555
正味財産残高	41,881	52,309	59,290	56,828	47,837	32,180	19,625

この財政逼迫の原因は、収入では事業収入の落ち込み並びに市及び国の補助金の減少、支出では人件費(役員報酬と職員給与)を主とする管理経費の増です。



4月	27,197	20,285	6,912	29,540	27,016	27,637	28,087
5月	36,894	29,530	7,364	43,335	37,345	38,604	37,786
6月	38,580	31,747	6,833	43,570	45,209	44,801	45,465
7月	43,460	36,422	7,038	44,344	49,474	48,145	49,989
8月	35,259	28,447	6,812	39,885	39,943	37,976	38,629
9月	36,572	29,294	7,278	42,593	38,895	41,547	44,108
10月	43,016	35,273	7,743	44,420	45,983	46,456	44,182
11月	42,098	33,217	8,881	41,546	41,042	37,484	40,824
12月	31,046	20,078	10,968	29,958	32,341	28,983	28,108
1月	21,101	13,169	7,932	18,772	19,918	17,315	19,966
2月	21,229	13,493	7,736	17,450	20,123	19,864	19,375
3月	29,130	19,686	9,444	27,779	29,129	29,037	28,327
合計	405,582	310,641	94,941	423,194	426,417	417,850	424,845

(1) 請負・委任(受託)業務の受注実績

平成30年度の請負・委任業務の契約金額は310,641千円で、対前年度比は、金額で-32,043千円、率で-9.4%でした。対前年度比の発注元別金額の内訳は、公共が51,836千円、民間事業所が119,028千円、一般家庭が139,777千円となっています。公共と民間事業所を合算した額は、170,864千円で対前年度比は-13,135千円で、これは派遣の受注額の増加額14,431千円にほぼ相当する額となっています。

適正受注・適正就業の厳格運用の基本方針により、随時、請負・委任から派遣へ切り替えてまいりました。平成29年度まででほぼ完了し、平成30年度には1件切り替えを行ったところです。請負・委任業務の受注実績が大きく減少した要因は、除草業務が猛暑による受注、作業量の減少や見積調査で時間を要したことによるもの、また剪定業務が会員数の減少等で受注実績が低下したことがあげられます。

一方では、民間事業者、NPO、地域福祉団体等が実施する生活支援サービス業務と競合するところもあり、注視する必要があります。

また、繁忙期においては、契約不成立となった受注も少なからずあったことから、会員の確保、配置、実施時期などの課題を引き続き検証し、より多くの受注を確保できるように工夫していく必要があります。

表7 請負・委任(受託)業務の月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	H30年度	H30年度件数	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
4月	20,285	594	23,624	24,229	27,573	28,021
5月	29,530	877	36,744	34,026	38,604	37,720
6月	31,747	1080	37,558	41,830	44,801	45,398
7月	36,422	1137	38,250	46,256	48,145	49,923
8月	28,447	979	33,982	36,575	37,938	38,565
9月	29,294	946	36,037	35,319	41,493	44,044

10月	35,273	1125	36,599	41,807	46,456	44,116
11月	33,217	1052	33,804	35,893	37,290	40,770
12月	20,078	820	20,646	24,572	28,205	28,044
1月	13,169	365	12,489	14,303	16,464	19,913
2月	13,493	472	11,684	15,376	18,207	19,325
3月	19,686	592	21,267	23,576	27,097	28,256
計	310,641	10,039	342,684	373,762	412,273	424,095

表8 請負・委任(受託)業務発注元別の受注金額(単位：千円)と割合

発注元	公共		民間事業所		一般家庭		計	
	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%
H30年度	51,836	16.7	119,028	38.3	139,777	45.0	310,641	100
H29年度	50,148	14.6	133,851	39.1	158,685	46.3	342,684	100
H28年度	48,433	12.9	163,601	43.8	161,728	43.3	373,762	100
H27年度	50,901	12.3	200,707	48.7	160,665	39.0	412,273	100
H26年度	54,888	13.0	205,852	48.5	163,355	38.5	424,095	100
H25年度	57,979	13.5	209,580	48.7	162,749	37.8	430,308	100
H24年度	73,703	16.9	198,071	45.4	164,351	37.7	436,125	100
H23年度	107,209	21.2	221,712	43.7	177,759	35.1	506,680	100
H22年度	107,247	20.0	253,374	47.3	174,933	32.9	535,554	100
H21年度	107,924	19.8	265,202	48.6	172,822	31.6	545,948	100

表9 請負・委任(受託)業務の作業種ごとの受注額(単位：千円)と件数

作業種	除草	剪定	屋外清掃	障子襖	屋内清掃	検針	農林作業
受注額(千円)	84,420	74,316	33,421	28,848	21,104	12,871	10,556
件数	2,542	2,599	967	1,384	739	96	380
平均単価(円)	33,210	28,594	34,562	20,844	28,558	134,073	27,779

作業種	建物管理	家事援助	配達	屋外雑役	屋外施設管理	物品管理	大工仕事
受注額(千円)	9,037	7,001	4,101	2,826	2,615	2,129	1,626
件数	88	287	37	110	36	12	96
平均単価(円)	102,693	24,394	110,838	25,691	72,639	177,417	16,938

作業種	運動施設管理	屋内雑役	畳工事	その他外務	建物一部管理	その他管理・監視	その他
受注額(千円)	1,489	1,449	1,331	1,187	1,152	1,048	8,381
件数	12	32	30	14	63	12	503
平均単価(円)	124,083	45,281	44,367	84,786	18,286	87,333	16,662

受注総額：310,907千円、受注総件数：10,039件、平均請負単価30,970円

## (2) 派遣業務の受注実績

平成 30 年度の派遣業務の受注額は 94,941 千円で、対前年度比は、金額で+14,431 千円、率で+17.9%でした。派遣事業が軌道に乗ってきたことで、受注金額が大きく増加したものです。

事務局においても派遣の受け入れ体制を整備し、新規の受注も数多く確保することができました。また、高齢者活躍人材育成事業の技能講習会受講者を対象に新規会員の入会を積極的に募ったことが、会員増につながり、ひいては派遣事業の実績の伸びにつながったといえます。

平成 31 年 2 月の島根県内の有効求人倍率は 1.77 倍で、全国平均の 1.63 倍を 0.14 ポイント上回っています。こうした状況を追い風に、人手不足の効果的な対策として、派遣事業は、今後もさらなる受注増が見込まれています。

表 10 平成 30 年度 派遣事業月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	H30 年度	H30 年度件数	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度
4 月	6,912	84	5,916	2,787	64	66
5 月	7,364	87	6,590	3,320	0	65
6 月	6,833	83	6,012	3,379	0	67
7 月	7,038	94	6,094	3,218	0	65
8 月	6,812	88	5,903	3,368	39	64
9 月	7,278	93	6,556	3,576	55	63
10 月	7,743	96	7,822	4,176	0	65
11 月	8,881	105	7,742	5,149	194	54
12 月	10,968	104	9,312	7,769	779	64
1 月	7,932	96	6,284	5,615	851	55
2 月	7,736	98	5,766	4,747	1,657	50
3 月	9,444	103	6,512	5,553	1,938	71
計	94,941	1,131	80,510	52,656	5,577	751

表 11 派遣契約件数の状況

年度	契約件数(件)	派遣期間別契約件数			
		1 か月未満	1 か月以上 3 か月未満	3 か月以上 6 か月未満	6 か月以上
H30 年度	269	113	43	19	94
H29 年度	224	95	32	20	77
H28 年度	110	24	26	21	39
H27 年度	42	19	15	8	0
H26 年度	1	1	0	0	0

## 2 会員の状況

平成 30 年度末(H31. 3. 31)の会員数は、901 名(男 612 名、女 289 名)で、平成 29 年度末(H29. 3. 31)の 901 名(男 619 名、女 282 名)と同数になりました。内訳は、新入会員 135 名(男 70 名、女 65 名)、退会会員 135 名(男 77 名、女 58 名)となっています。

表 12 地域別会員登録状況(単位：人、3. 31 現在)

地域	年度	男性	女性	合計	地域	年度	男性	女性	合計
出雲	H30 年度	263	144	407	平田	H30 年度	120	37	157
	H29 年度	265	133	398		H29 年度	124	41	165
	H28 年度	258	126	384		H28 年度	122	41	163
	H27 年度	246	119	365		H27 年度	121	46	167
大社	H30 年度	66	29	95	斐川	H30 年度	132	66	198
	H29 年度	66	34	100		H29 年度	136	63	199
	H28 年度	65	35	100		H28 年度	137	64	201
	H27 年度	60	35	95		H27 年度	137	58	195
河南	H30 年度	31	13	44	合計	H30 年度	612	289	901
	H29 年度	28	11	39		H29 年度	619	282	901
	H28 年度	28	11	39		H28 年度	610	277	887
	H27 年度	24	9	33		H27 年度	588	267	855

表 13 年齢別・男女別会員登録状況(単位：人、3. 31 現在)

年齢		60-64		65-69		70-74		75-79		80-84		85-		合計		
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H30	人数	46	28	166	79	224	111	130	57	41	14	5	0	612	289	901
	割合	5.1	3.1	18.4	8.8	24.9	12.3	14.4	6.3	4.6	1.6	0.6	0.0	67.9	32.1	100.0
H29	人数	54	23	192	84	210	103	130	55	30	16	3	1	619	282	901
	割合	6.0	2.6	21.3	9.3	23.3	11.4	14.4	6.1	3.3	1.8	0.3	0.1	68.7	31.3	100.0
H28	人数	52	28	199	98	207	86	115	54	34	10	3	1	610	277	887
	割合	5.9	3.2	22.4	11.0	23.3	9.7	13.0	6.1	3.8	1.1	0.3	0.1	68.8	31.2	100.0
H27	人数	61	19	213	100	178	88	103	44	31	14	2	2	588	267	855
	割合	7.1	2.2	24.9	11.7	20.8	10.3	12.0	5.1	3.6	1.6	0.2	0.2	68.8	31.2	100.0



表 14 職群別会員登録状況(単位：人、3.31 現在)

区分	年度	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	計
男	H30	75	217	70	149	101	464	32	0	1,108
	H29	77	215	63	146	100	468	24	0	1,093
	H28	86	218	53	135	85	456	20	0	1,053
	H27	91	210	45	138	72	430	18	0	1,004
女	H30	3	16	40	7	26	246	138	3	479
	H29	3	19	36	7	24	237	129	3	458
	H28	3	20	38	7	21	227	117	4	437
	H27	3	20	31	9	20	219	107	4	413
計	H30	78	233	110	156	127	710	170	3	1,587
	H29	80	234	99	153	124	705	153	3	1,551
	H28	89	238	91	142	106	683	137	4	1,490
	H27	94	230	76	147	92	649	125	4	1,417
割合 (%)	H30	4.9	14.7	6.9	9.8	8.0	44.8	10.7	0.2	100.0
	H29	5.2	15.1	6.4	9.9	8.0	45.5	9.9	0.2	100.0
	H28	6.0	16.0	6.1	9.5	7.1	45.8	9.2	0.3	100.0
	H27	6.6	16.2	5.4	10.4	6.5	45.8	8.8	0.3	100.0

表 15 会員数等の推移(単位：人、3.31 現在)

年度	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
男	612	619	610	588	585	616	697
女	289	282	277	267	270	298	318
男女計	901	901	887	855	855	914	1015
対前年度比	100.0	101.6	103.7	100.0	93.5	90.0	83.4
対前年度増減	0	14	32	0	-59	-101	-202
平均年齢(男)	72.1	71.6	71.5	71.2	71.3	71.1	70.7
平均年齢(女)	71.4	71.7	71.2	71.2	70.8	70.8	70.5
平均年齢(男女)	71.9	71.6	71.4	71.2	71.1	71.0	70.6

年度	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
男	840	882	905	873	838	922	892
女	377	408	446	466	437	495	500
男女計	1217	1290	1351	1339	1275	1417	1392
対前年度比	94.3	95.5	100.9	105.0	90.0	101.8	101.2
対前年度増減	-73	-61	12	64	-142	25	16
平均年齢(男)	70.1	69.9	69.8	69.9	69.6	69.4	69.1
平均年齢(女)	69.8	69.6	69.3	68.9	68.6	68.4	67.7
平均年齢(男女)	70.0	69.8	69.6	69.5	69.3	69.1	68.6

### 3 就業開拓の取組

#### (1) 地域を越えた就業の促進

受注の現状を考慮すると、「請負・委任事業」だけでの増額は難しいことから、「派遣事業を含めた全事業」での増額を目指していくこととしました。地域を越えた就業については、会員に、より多くの就業機会を提供できるように事務局内で会員情報を共有してマッチングの効率を高めることとし、また、繁忙期の応援体制については、移動距離等に配慮し、会員負担の少ない隣接地域での対応を行ってまいりました。

#### (2) 女性部会の活動

平成 30 年 3 月 2 日に設立した女性部会は、センター女性会員相互の就業に係る経験知識の研鑽、情報交換を行い、就業の促進及び会員の増加を図るために、平成 30 年度は以下の事業を行いました。

- ① 講習会：女性会員を対象とした講習会を 3 回開催し、68 名の参加がありました。
- ② 定例会：女性部会委員による定例会を開催し、講習会の内容検討、女性部会だよりの作成、プチ企画の実施などを行いました。

表 16 平成 30 年度 女性部会委員名簿

地区	氏名	備考	地区	氏名	備考
出雲	嘉藤 馥美	委員長	斐川	岡田千恵子	
出雲	松川 潤子		斐川	川島 涼子	
出雲	成相 絹枝		斐川	後藤 裕子	
出雲	豊田恵美子	副委員長	平田	遠藤 恵子	
大社	福島ひろみ	副委員長	平田	吉川喜代美	

任期：平成 30 年 3 月 2 日から 2 年間

表 17 講習会開催状況

期日	会の内容	参加者数	場所
6/22	① 福祉・家事援助サービス就業前の心構え ② 資生堂美容部員の坂根さん及びコトブキヤ化粧品店長四方田さんを講師に、「60 歳からのメイクアップ」「簡単きれいになれるエイジングケア」「お手入れからメイクまで実践」を受講	19 名	センター会議室
11/26	① 福祉・家事援助サービス就業前の心構え ② 元海星病院看護師長の金山さんを講師に、「すこやかに生きる～コミュニケーションを考える～」と題した講演を受講	26 名	センター会議室

期日	会の内容	参加者数	場所
2/5	① 福祉・家事援助サービス、トラブル事例と対処法 ② 出雲市消防本部職員を講師に、「とっさの時の救急法」を受講	23名	センター会議室

表 18 女性部会委員による定例会開催状況

開催日	内容	出席者数	場所
第 1 回(5/23)	①第 1 回講習会の準備	7名	センター
第 2 回(6/27)	①第 1 回講習会の実施結果の検討 ②女性部会だよりの作成 ③第 2 回講習会の準備	7名	センター
第 3 回(7/25)	①第 2 回講習会内容協議 ②プチ企画の検討	6名	センター
第 4 回(8/22)	①第 2 回講習会の準備 ②女性部会だよりの作成	6名	センター
第 5 回(9/25)	①第 2 回、第 3 回講習会準備 ②プチ企画準備	7名	センター
第 6 回(10/23)	①第 2 回、第 3 回講習会準備 ②プチ企画準備	6名	センター
第 7 回(11/20)	①第 2 回、第 3 回講習会準備 ②プチ企画準備	7名	センター
第 8 回(12/17)	①第 3 回講習会準備 ②女性部会だよりの作成	7名	センター
第 9 回(1/22)	①第 3 回講習会準備	7名	センター
第 10 回(2/19)	①第 3 回講習会実施結果の検討 ②平成 31 年度事業の検討	7名	センター
第 11 回(3/19)	①平成 31 年度事業の検討 ②女性部会だよりの作成	11名	センター

### (3) 出雲市生活支援体制整備推進協議体への参画

出雲市が平成 28 年度に設置した『出雲市生活支援体制整備推進協議体』の会議が平成 30 年度は 7 月と 3 月の 2 回開催され、委員である事務局長が参加し、意見交換、情報収集等を行いました。この協議体は、地域で高齢者を支える多様な主体・機関のネットワークを構築することにより、地域の課題やニーズを共有し、地域づくりの目的や方針を策定することを目的としています。

### (4) 新規事業の実施

平成 30 年度からの新規事業として、「B 級野菜市」及び「空き家点検サービス」を実施しました。

#### ① B 級野菜市

「B 級野菜市」は、平成 30 年 4 月から毎週水曜日の午前中、センター事務所駐車場を会場に開催しました。

この野菜市での販売は、野菜、手工芸品及び未使用のギフト品等で、運営は出品者、役員、事務局職員が協力して行いました。

表 19 B級野菜市開催状況

開催回数	延べ出品者	出品数	販売数	売上金	配分金	事務費
49回	138名	3,079	2,169	266,400円	241,802円	24,598円

② 空き家点検サービス

空き家点検サービスは、出雲市内でも増加傾向にある空き家の管理について事業化することができないかを検討した結果、発注者から依頼のあった空き家を訪問し、目視による点検を行い、報告書と請求書を郵送する方法で実施するものです。

市役所の「空き家」担当の課である防災安全課と連携し、市役所に問い合わせがあればこの事業を紹介してもらうほか、センターのホームページへも掲載し周知を行いました。利用は1件でした。今後も引き続き宣伝に努めてまいります。

4 会員拡大の取組み

(1) 入会説明会の開催

毎週水曜日に入会説明会をセンターで開催しました。323名の説明会参加者に対し、約40%の131名の入会がありました。

表 20 入会説明会参加者及び入会者(H30.4~H31.3)

表 20-1 説明会参加者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	189	14	20	13	19	30	15	24	11	9	17	12	5
平田	34	2	2	2	3	8	2	3	0	1	2	5	4
河南	22	3	3	1	5	2	0	3	0	1	2	1	1
大社	28	1	6	2	4	3	2	3	1	1	1	3	1
斐川	50	1	8	3	2	7	4	8	4	4	1	6	2
合計	323	21	39	21	33	50	23	41	16	16	23	27	13

表 20-2 説明会参加者で入会者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	78	13	6	4	4	7	4	22	3	10	3	2	0
平田	12	3	1	2	1	2	1	1	0	1	0	0	0
河南	10	2	1	0	2	1	1	1	0	1	1	0	0
大社	10	0	2	1	0	0	0	4	1	1	0	1	0
斐川	21	4	2	1	2	2	1	7	0	0	1	1	0
合計	131	22	12	8	9	12	7	35	4	13	5	4	0

## (2) 賛助会員

平成 30 年度の賛助会員は、75 の事業所及び個人(会費：1 口 3 千円)でした。就業機会及び会員確保の貴重な窓口になることから、今後とも可能な限り連携を図ってまいります。

表 21 賛助会員一覧(五十音順)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社島根支店出雲支社，味工房まつしま，アルファー食品株式会社，出雲大社，出雲ガス株式会社，出雲商工会議所，板倉酒造有限会社，医療法人永樹会吉岡医院，医療法人沖縄徳洲会出雲徳洲会病院，医療法人吉翔会吉直整形外科クリニック，医療法人壽生会，イワタニ山陰株式会社出雲支店，小田自動車，介護老人保健施設ケアセンターかんど，株式会社あい保険パートナーズ，株式会社アリオン，株式会社出雲総合卸売市場，株式会社出雲村田製作所，株式会社ウシオ，株式会社栄徳，株式会社香り芽本舗，株式会社コスモス，株式会社小林冷蔵，株式会社山陰一畑クッキング，株式会社多伎振興，株式会社たくみ，株式会社田中種苗，株式会社電協コーポレーション，株式会社 L P C ホテル&リゾートニューウェルシティ出雲，株式会社 F I C 小竹原出雲営業所，株式会社ホンダカーズ出雲，株式会社松文オフテック出雲営業所，株式会社ミック出雲支店，株式会社やまもと，株式会社吉川製作所，久文建設株式会社，漁業協同組合 J F しまね大社支所多伎出張所，三愛石油有限会社，山陰セキスイ商事株式会社，三洋自動車有限会社，島根印刷株式会社，島根県農業協同組合出雲地区本部，島根県農業協同組合ラピタ本店，島根島津株式会社，島根中央信用金庫，島根電工株式会社出雲支店，社会福祉法人出雲南福祉会ケアハウス寿生の郷，社会福祉法人きづき会特別養護老人ホームいなさ園，社会福祉法人ひまわり福祉会，社会福祉法人やすらぎ福祉会，宗教法人出雲教，須田金物，清和鉄工株式会社，ダイイチ株式会社，大社健康スポーツ公園杵築体育協会管理委員会，中国労働金庫出雲支店，特定非営利活動法人出雲スポーツ振興 2 1，特別養護老人ホームるんびにいな苑，ヒラタ精機株式会社，富士酒造合資会社，山下壮一，有限会社アスプラン，有限会社出雲フォークリフト，有限会社オフィスヒストリィ，有限会社カーショップダンドン，有限会社門脇商店，有限会社協同サービス，有限会社江陽印刷，有限会社スズキ販売出雲，有限会社スタニ刃物，有限会社斐川農協自動車整備工場，有限会社ビジネスホテル大社，有限会社マルフ興産，吉田音楽教室，料理仕出しつねまつ
合計 75(企業・団体 74 事業所、個人 1 人)

## (3) 新規入会者の就業相談

地域ごとに新規入会者の面接を実施し、就業条件、適性、個々の様子などを聞き、具体的な就業先を紹介しました。

## (4) 未就業会員の就業相談

未就業会員を対象とした就業相談は、面談及び電話によって随時実施しています。今後も定期的に電話連絡を行い、現状把握をするとともに就業の斡旋を行い、就業率の向上に努めてまいります。

表 22 地域別未就業会員数(3.31 現在、単位：人)

年度	区分	出雲	大社	平田	斐川	河南	合計
H30 年度	未就業会員数	68	10	18	22	8	118
	会員数	407	95	157	198	44	901
H29 年度	未就業会員数	71	12	18	17	6	124
	会員数	398	100	165	199	39	901
H28 年度	未就業会員数	61	9	10	22	12	114
	会員数	384	100	163	201	39	887
H27 年度	未就業会員数	69	11	12	17	8	117
	会員数	365	95	167	195	33	855

表 23 未就業会員の年齢構成(3.31 現在、単位：人・%)

年度	年齢	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80 歳以上	合計
H30 年度	人数	16	44	30	24	4	118
	割合%	13.6	37.3	25.4	20.3	3.4	100
H29 年度	人数	20	43	35	22	4	124
	割合%	16.1	34.7	28.2	17.8	3.2	100
H28 年度	人数	14	41	31	21	7	114
	割合%	12.3	36.0	27.2	18.4	6.1	100
H27 年度	人数	18	41	30	14	14	117
	割合%	15.4	35.0	25.6	12.0	12.0	100

表 24 未就業の主な理由(単位：人)

年度	就職中	病気	互助会活動	就業可能	その他	合計
H30 年度	53	16	3	34	12	118
H29 年度	51	22	10	26	15	124
H28 年度	46	20	7	31	10	114
H27 年度	45	12	14	27	19	117

#### (5) 技能講習会受講者への入会促進

派遣労働の就業拡大を目的に県連合会と連携して実施した技能講習会(調理補助、介護補助、清掃、店舗、保育補助スタッフ等養成)受講者、またセンター独自で実施した調理、清掃スタッフ講習受講者を対象に、面談及びアフターフォローを行い、入会を勧め、加入につなげました。

## 5 安全就業の取組

### (1) 安全巡回パトロールの実施

安全巡回パトロールを9月から11月にかけて計6回実施し、15か所の就業現場で安全保護具装着の指導や就業現場の危険個所の点検などを行いました。

### (2) 労働安全研修会の開催

派遣又は請負業務で運転する機会のある会員及び役職員を対象に、交通安全意識の高揚と交通事故防止についての交通安全研修会を実施しました。

開催日：平成31年3月22日(金) 10:00～11:00

場 所：出雲市民会館301会議室 講師：島根県出雲警察署交通課職員

参加者数：60名

### (3) 安全就業推進大会の開催

平成30年度の安全推進大会は、出雲市民会館で開催し、島根大学医学部名誉教授塩飽邦憲先生による講演を聞き、会員の健康管理や事故防止について安全意識の向上を図りました。また、作業別安全就業基準に関する要領を配付・周知しました。

開催日：平成31年2月28日(木) 13:00～15:00

場 所：出雲市民会館301会議室 参加者数：88名

表 25 安全就業推進大会開催状況

大会名	開催日	出席者数	場 所	内 容
第24回	H31. 2. 28	88名	出雲市民会館	講演「老いても元気に社会参加」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第23回	H29. 11. 30	60名	斐川文化会館	講演「作業の安全について」
第22回	H29. 9. 26	45名	パルメイト出雲	講師：米田育郎(労働安全コンサルタント)
第21回	H28. 11. 28	83名	平田文化館	講演「老いても元気に社会参加」
第20回	H28. 8. 26	72名	パルメイト出雲	講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第19回	H27. 11. 27	89名	斐川文化会館	講演「交通安全について」 会員による意見・体験発表
第18回	H27. 8. 28	89名	パルメイト出雲	寸劇「安全就業について」 ヒヤリ・ハット体験の収集
第17回	H26. 11. 27	68名	パルメイト出雲	寸劇「交通安全指導」
第16回	H25. 12. 13	78名	出雲体育館	救急講習「応急手当について」 出雲市消防署
第15回	H24. 10. 5	116名	出雲体育館	意見・体験発表
第14回	H23. 8. 30	226名	ビッグハート出雲	意見・体験発表

### (4) 安全ニュースの提供

安全ニュースの発行に替えて、事務局便りにおいて、熱中症の予防及び蜂刺され防

止並びに除草作業における飛び石防護等について注意喚起を行いました。

(5) 70歳到達運転会員及び80歳到達会員の面接

運転業務に就業中の満70歳に達した会員(対象者76名)及び満80歳に達した会員(対象者67名)で引続き就業を希望する会員について、健康面・安全面について面接審査しました。結果は、いずれの会員も良好でした。

(6) ヒヤリ・ハット体験の情報収集と活用

ヒヤリ・ハット体験の情報を収集・分析して、作業班会議等で注意喚起しました。

(7) シルバー保険

就業中の傷害事故や賠償事故の補償のためにシルバー団体傷害保険及び賠償責任保険に加入しました。平成30年度には、22件の保険請求を行い、20件の給付を受けました。

(8) 事故発生状況

平成30年度の事故の発生件数は29件で、前年度に比べ7件増加しました。内訳は、就業中の傷害事故が12件、就業途上の事故が3件、賠償事故が14件でした。

表26 事故件数の推移

年度	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
傷害事故	12	2	12	6	7	4	1	9
就業途上事故	3	2	0	4	0	1	0	1
賠償事故	14	18	16	12	23	11	11	12
合計	29	22	28	22	30	16	12	22

表27 平成30年度 傷害事故(発生件数:12件)

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	程度
1	4/13(金)大社, 男, 71歳, 溝掃除	溝掃除で、溝蓋を溝に収めるときに指を挟んだ	通院
2	4/14(土)平田, 男, 68歳, 障子・襖の張替	フラッシュ板戸を車に積み込む際に腰を痛めた。通常の板戸より長くて重いものであった上、積込用の車を坂に駐車していたため、積込み難しい状況で腰に負担がかかった。	通院
3	7/18(水)大社, 男, 66歳, 休耕田の草刈作業	草刈作業中に、蜂に両手の甲を刺された。草丈が2m近くあり、蜂の巣があることが疑われたため、作業前に現場全体を確認したが、蜂を発見できなかった。	通院
4	7/23(月)斐川, 男, 79歳, チラシ配付	チラシ配布中に熱中症になり救急搬送された。気温がかなり高かった。	入院
5	7/28(土)大社, 女, 76歳, 墓地清掃	草取をしていたところ、右手の甲を蜂に刺された。	通院
6	8/6(月)出雲, 男, 69歳, 庭の草取作業	庭の草取り作業中に、首の後ろを蜂に刺された。気分が悪くなり、全身に発疹が出たため病院で治療した。	入院



No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	程度
7	8/8(水) 斐川, 男, 74 歳, 生垣の剪定	剪定作業中に、家の中から出てきた蜂に、後方から右肘の上を刺された。作業前に庭や樹木に蜂の巣がないか確認していたが、家の中までは確認できず、後方(家の中)から出てきたため蜂を避けることができなかった。	入院
8	9/19(水) 大社, 男, 73 歳, 剪定屑の回収	剪定枝を処理場へ搬入するため軽トラックに積み込む作業をしていたところ、枝の先がふくらはぎ付近に当たった。	通院
9	10/1(月) 斐川, 男, 69 歳, 草刈作業	草刈をする場所の隣の土地に自動車が駐車してあったため、該当の会員と他の会員で飛び石防護のためにシートを持ち、もう1名の会員が刈払機で草刈をしていた。風が強かったため、該当の会員が足でシートを踏んで押さえていたが、その会員の右足親指外側に刈払機の刃が接触した。	通院
10	12/19(水) 大社, 男, 66 歳, 庭木の剪定	庭木の剪定作業中に、強風にあおられ、三脚の上から2段目から転落した。石の上に三脚の片方の足が乗っていた。	入院
11	1/6(日) 出雲, 男, 66 歳, 夜間フロント業務(派遣)	就業後、帰宅しようとして自家用車に乗り込んだが就業先の鍵を持っていたため、フロントに行き返却したが、その時に地下室の電気も点灯したままかも知れないと思い、確認するために地下室に向かう階段で転倒した。	労災 保険 入院
12	3/20(水) 斐川, 男, 71 歳, 庭木の伐採	ソテツの木を根元からチェーンソーで切り倒した。その後、運べる大きさに幹を切断するため、ソテツの葉を左手で持ち、右手でチェーンソーを片手で操作して、葉を幹から切断しようとしたが、刃先が跳ねて、左手小指の内側に接触して切れた。	通院

表 28 平成 30 年度 賠償事故(発生件数：14 件)

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険	賠償金額(円)
1	4/21(水) 大社, 男, 75 歳, 草刈作業	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、20m先に駐車してあった発注者の車両に当たり、車両後輪左フェンダーにヘコミ傷をつけた。強風のため飛び石防護ネットを設置できず、ブルーシートを車両に被せていたが傷が付いた。	賠償保険	143,176
2	4/17(火) 出雲, 男, 67 歳, 草刈作業	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、駐車中の車両に当たり、運転席側後方ガラス等を破損させた。飛び石防護ネットを設置していたが、その上部を越えて車両に当たった。	賠償保険	88,452
3	6/15(金) 出雲, 男, 62 歳, 草刈作業	草刈作業で、職員の事前下見(測量)の際に、発注者から樹木の枝を根元付近から切るように指示されたが、作業する会員が発注者が指定していた樹木と違う樹木を間違えて根元から伐採した。	賠償保険	未定
4	7/7(土) 大社, 男, 72 歳, ブドウ畑の草刈	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、走行中の車両に当たり、助手席側ラゲッジのガラスを破損させた。飛び石防護ネットを設置していなかった。	賠償保険	46,980
5	7/21(土) 出雲, 男, 71 歳, 剪定後のゴミ回収	剪定後のゴミ回収作業の際に、ゴミが置いてある場所に車両(軽トラック)を幅寄せしようとしてハンドルを切りながら後進したところ、近くの石垣に接触してリアバンパーの留め具を破損させた。2名一組で作業しているが、助手の会員がゴミの積み込み準備をしていたため、その会員が後進時の誘導をしていなかった。	車両保険	26,093

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険	賠償金額 (円)
6	8/21(火) 斐川, 男, 75 歳, 庭木の剪定	樹木の枝を切った際に、フェンスの上に落下して破損させた。会員の想定していなかった方向に落下したため。また、ロープ等で引っ張っていなかった。	賠償保険	52,920
7	8/29(水) 斐川, 男, 74 歳, 剪定作業	工場の樹木の剪定作業で、作業を開始する前に蜂の巣がないかタルキで樹木を叩いて確認していたが、駐車場に駐車してあった車両に接触して2ヶ所破損させた。樹木と車両の間は2m程度。以前、作業した際にスズメ蜂の巣があった。	賠償保険	91,060
8	9/22(土) 斐川, 男, 77 歳, 草刈作業	草刈作業中に刈払機で小石を跳ねて窓ガラスを破損させた。2名で飛び石防護の為にシートを持っていた。	賠償保険	9,228
9	10/9(火) 湖陵, 男, 71 歳, 草刈作業	刈払機で草刈を行っていたところ、草の中に隠れていた水道管を刈払機の刃で傷つけ、破損させた。	賠償保険	5,400
10	10/17(水) 大社, 男, 66 歳, 庭木の剪定	庭木の剪定をしていたところ、伐った枝が窓ガラスに接触し破損させた。	賠償保険	15,660
11	10/31(水) 出雲, 男, 76 歳, 草刈作業	草刈作業中に刈払機で小石を跳ねて、敷地内宿舎の窓ガラスを破損させた。	賠償保険	18,144
12	6/25(日) 出雲, 男, 70 歳, 庭木の剪定	庭木の剪定作業中に突風にあおられ、樹木に立て掛けていた脚立が倒れ、近くの灯籠上部に接触して破損させた。	賠償保険	64,800
13	12/25(火) 多伎, 男, 71 歳, 人員送迎業務(派遣)	出雲市の派遣契約で「多伎・朝山道路現地視察」の送迎中に経由地である、キララ多伎駐車場で駐車させようとして、掛谷運送有限会社の駐車中のダンプカーに衝突させた。けが人なし。	車両保険 派遣先	0
14	3/11(月) 大社, 男, 73 歳, 柿の木の剪定	柿の木の剪定後の木の状態を、発注者知人の専門家が見られたところ、実が出来ないと言われた。秋まで様子を見てもらい、実がならないようであれば弁償することで了承された。	賠償保険	未定
合計				561,913

## 6 適正就業の取組

### (1) 就業の偏りの是正

一部の会員において就業機会の多い会員と少ない会員との差が大きく、就業機会の偏りへの不満から退会となるケースも見受けられます。

こうした就業機会の偏りを是正するために、作業種単位を軸とした就業体制づくりを目指していくこととし、そのための準備として、会員ができる仕事のアンケートを実施しました。今後は、全会員就業可能業務一覧(データベース)を作成し、就業可能会員の抽出を平等かつ迅速に行えるよう努めます。

また、アンケート結果から、除草及び剪定作業を希望される会員が多いため、まずはこの2つの作業について「作業班」の結成を進めます。

### (2) 適正就業審査

同一会員が5年以上継続して就業している施設管理業務、検針業務等の9件に関し、21名の長期就業者の交代について逐次募集を行い、この内9名が交代しまし

た。引き続き長期就業者の交代について募集を行っていきます。

## 7 普及啓発の取組

### (1) チラシの配布

会員募集チラシを作成し、9月、3月の2回、それぞれ町内回覧を行いました。

### (2) 会員向け情報提供

会員向け情報提供は、「事務局だより」(毎月発行)と「理事会便り」(理事会開催月の翌月発行)の二つの方法で行いました。

### (3) ホームページの活用

ホームページは、会員及び発注者に対する情報共有・提供手段としてきわめて有効です。理事会だよりを更新するとともに、今年度新たに公開した事務局便りは、毎月更新しました。また、会員への情報発信の一つとして、就業募集一覧も公開し、毎月更新しています。掲載情報をより豊富にするとともに情報の最新化に努めてまいります。

## 8 作業班の活性化

### (1) 作業班会議の開催

これまでは「職群班」の名称を用いていましたが、会員みなさんに馴染みが薄く実感がなかったため、「作業班」の名称を用いることとしました。

平成30年度は、会員を対象に調査を実施した「就業を希望する作業等に関する調査」結果を基に、受注量の多い除草及び剪定の2職種について、作業班を結成するための会議を5回開催し、意見交換を行いました。

表 29 平成30年度 作業班会議の開催状況

区分	開催日	会場	参加者数(人)
除草	H31. 3. 1	平田学習館	14
	H31. 3. 5	斐川文化会館	10
	H31. 3. 13	出雲文化伝承館	30
剪定	H31. 3. 18	出雲市民会館	11
	H31. 3. 19	斐川文化会館	17

計 82

## 9 地区班の活性化

### (1) 地区班への助成金の交付

地区班の活性化と自主的な活動を期待して助成している交付金について、配付文書の郵送化に伴い、交付制度を見直し、会議等参加率向上を目指しました。

31地区班全てに対し「2,000円(電話代相当)+参加割(定時総会、安全就業大会、

地区班会議、ボランティア活動に参加した場合、1 会員につき 1 回 100 円)」を各班に交付しましたが、参加者の増加にはつながりませんでした。このため助成金制度は、平成 30 年度をもって廃止することとしました。

表 30 平成 30 年度 地区班活動事業への助成金交付状況(単位：円)

#	地区班名	交付額	#	地区班名	交付額
1	今市	4,800	17	田儀	2,700
2	大津	4,400	18	岐久	2,800
3	塩冶・古志	7,500	河南地域合計		5,500
4	高松	4,900	19	杵築北東	2,700
5	四絡	2,700	20	杵築西南	5,000
6	高浜	4,000	21	荒木	3,100
7	川跡・鳶巣	5,100	22	遙堪	2,800
8	南部	4,300	23	日御碕	2,500
9	神門	5,500	大社地域合計		16,100
10	長浜・神西・湖陵・佐田	5,100	24	荘原 1	3,500
出雲地域合計		48,300	25	荘原 2	3,600
11	平田	5,500	26	荘原 3	3,600
12	灘分	4,500	27	出西	2,700
13	国富	3,700	28	伊波野	4,000
14	久多美	4,500	29	直江	4,500
15	東	5,400	30	久木	2,100
16	佐香	3,100	31	出東	3,900
平田地域合計		26,700	斐川地域合計		27,900

合計 124,500

(2) 地区班世話人会議の開催

平成 30 年度は案件がなく、開催しませんでした。

(3) 地区班会議の開催状況

地区班会議は、地域毎に複数の地区班合同で 2 回開催し、「請負業務における見積基準及び単価表の策定について」を主議題に、会員からの質問、意見等を求めました。

表 31 平成 30 年度 地区班会議の開催状況(単位：人)

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
1/22	出雲(中央ブロック)	今市	43	5	12%	中尾理事長 佐藤常務 三島理事	高橋課長
		大津	47	2	4%		
		高松	48	4	8%		
		四絡	35	1	3%		
1/23		塩冶・古志	76	13	17%	中尾理事長	松井主任

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
	出雲(南部ブロック)	南部	23	7	30%	佐藤常務 嘉藤副理事長	
1/24	出雲(北部ブロック)	高浜	19	3	16%	中尾理事長	福島補佐
		川跡・鳶巣	55	11	20%	佐藤常務 高橋理事	
1/25	出雲(西部ブロック)	神門	35	10	29%	中尾理事長 長廻副理事長 佐藤常務	吉田主任
		長浜・神西	33	6	18%		
		湖陵・佐田	25	3	12%		
		田儀	7	2	29%		
		岐久	11	1	9%		
1/28	平田	平田	25	10	40%	中尾理事長 佐藤常務 中島監事	勝田主任
		灘分	25	11	44%		
		国富	32	12	38%		
		久多美	35	12	34%		
		東	34	8	24%		
		佐香	9	5	56%		
1/29	大社	杵築北東	8	1	13%	中尾理事長 佐藤常務 原理事	吉田主任
		杵築西南	37	11	30%		
		荒木	24	4	17%		
		遙堪	21	5	24%		
		日御碕	7	1	14%		
1/30	斐川(東部ブロック)	荘原1	19	3	16%	中尾理事長 佐藤常務	高見局長
		荘原2	18	7	39%		
		荘原3	23	5	22%		
		出東	31	7	23%		
1/31	斐川(西部ブロック)	出西	33	6	18%	中尾理事長	福島補佐
		伊波野	29	5	17%	佐藤常務	
		直江	37	11	30%	青木理事	
		久木	13	1	8%	高野理事	
		合計	917	193	21%		

#### (4) シルバーの日ボランティア活動

10月のシルバー普及啓発月間に合わせ、各地区のコミュニティセンターや公共施設を中心に、市内24か所で除草、窓拭き又は剪定を実施し、センターの活動をアピールするとともに、ボランティア活動をとおして会員間の親睦交流を深めました。センターからの助成金を活用し、軍手、筆記具等を購入し、会員の参加促進に努めた地区班も多くありました。

表 32 平成 30 年度 地区班世話人名簿(平成 30 年 4 月 1 日現在)

地域	地区班名：世話人氏名(計 51 名)
出雲	今市：宇佐見禎 大津：倉本タカ子 塩治・古志：吾郷勲、佐々木進次、梶和男 高松：深石律子、栗原祐二 四絡：松井正雄、柳楽正美 高浜：米山純正 川跡・鳶巣：高橋充男 南部(上津、稗原、朝山、乙立)：櫛井伸幸 神門：浅津茂夫、今岡正人 長浜・神西：布野良市、藤江博
大社	杵築北・東：水師末富 杵築西・南：松井和生、渡部禮男 荒木：池淵文夫、林ヒサエ 遙堪：黒田治視 日御碕：安喰久重
平田	平田：加納敏治、日野光男 灘分：原美雄、古川淳 国富：川瀬敬一、矢田信雄 久多美：伊藤政治、田中萬喜夫 東：川瀬辰夫、高橋博 佐香：山岡洋治
多伎	田儀：川上雄平 岐久：内田武
湖陵・佐田	湖陵・佐田：石飛治二、安食富夫
斐川	莊原 1：高橋健治 莊原 2：高本芳樹 莊原 3：池淵正、福島信実 出西：小村達夫、荒木勝美 伊波野：藤原貴美子、星野久雄 直江：高野郁夫、山浦順 久木：江角幸一 出東：持田晃、井上晃

## 10 第 4 次中期 5 か年計画のローリング

第 4 次中期 5 か年計画について、平成 30 年度もローリングをかけ、現状を踏まえて見直しをしました。

平成 30 年度決算では、事業収入の減、人件費の増等により正味財産は、12,555 千円減少となっており、事業運営に支障を来たす状況になってきており、引き続き財政健全化対策を強力に推進していかなければなりません。平成 31 年度に向けては、人件費の面では、職員の退職や臨時職員の減等もあり、経費が縮減できる見通しもあり、併せて平成 30 年度に落ち込んだ請負・委任業務の事業収入の回復を図ることによって、財政状況の改善を図っていきます。

今後も事業実績の動向や傾向を踏まえ、「第 4 次中期 5 か年計画」として、より実態に即した計画となるよう中期事業基本計画推進委員会(理事会)において検討していきます。

## 11 会議

### (1) 総会

第 8 回(通算第 43 回)定時総会(H30.5.30、ビッグハート出雲)

来賓：出雲市副市長 伊藤功氏、出雲市議会副議長 川上幸博氏

報告：平成 29 年度収支補正予算、平成 30 年度事業計画及び収支予算

議案：平成 29 年度事業報告・収支決算・監査報告、理事長への権限委任

表 33 総会出席状況

総会名	開催日	出席者数	議決書面	委任状	会場
第 43 回(定時総会)	H30.5.30	117	425	76	ビッグハート出雲

総会名	開催日	出席者数	議決書面	委任状	会場
第 42 回(定時総会)	H29. 6. 6	129	354	104	ビッグハート出雲
第 41 回(定時総会)	H28. 6. 7	115	229	121	ビッグハート出雲
第 40 回(臨時総会)	H27. 8. 28	89	272	162	パルメイト出雲
第 39 回(定時総会)	H27. 5. 28	158	-	365	ビッグハート出雲
第 38 回(臨時総会)	H27. 2. 3	141	-		ビッグハート出雲
第 37 回(定時総会)	H26. 5. 28	149	-		ビッグハート出雲
第 36 回(通常総会)	H25. 5. 27	141	-		ビッグハート出雲
第 35 回(通常総会)	H24. 3. 27	177	-		ビッグハート出雲

## (2) 理事会

理事会は、7月、9月、11月、を除く毎月の定例会を9回と、7月の臨時会1回の、合わせて10回開催しました。

第1回(H30.4.10、センター、理事9名中8名出席、監事2名中1名出席)

報告:事業実績、業務報告、平成30年度収支予算書の修正、平成30年度事務分担表

議事:正会員の承認、

協議:平成29年度事業報告書及び収支決算書、総会提出予定議案

第2回(H30.5.8、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告:事業実績、業務報告、平成29年度定例監査指摘事項の改善措置、第3回補正予算の専決処分、B級野菜市の開催状況

議案:正会員の承認、特定費用準備資金等の目的外の取崩し、公益社団法人出雲市シルバー人材センター第8回(通算第43回)定時総会の招集

第3回(H30.6.12、センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

報告:事業実績、業務報告、監査結果報告書、監査の実施

議案:正会員の承認、

協議:センターの事務費

その他:生涯現役促進地域連携事業

第4回臨時会(H30.7.9、センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

報告:事業実績、事務局業務の一部を会員に依頼する場合の取り扱いに関する要項の改正、

議案:正会員の承認、平成30年度第1回補正予算

第5回(H30.8.7、センター、理事9名中9名出席、監事2名中1名出席)

報告:事業実績、業務報告、監査結果報告書、センター財政の収支状況の推移、除草作業に係る現地見積調査委託業務の実施状況、B級野菜市開催状況

議案:正会員の承認、

その他:会員及び技能講習受講者の募集、出雲市たすけあい活動団体

第6回(H30.10.9、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告:事業実績、業務報告、センター財政の収支状況の推移、適正就業委員会の開催結果、

議案：正会員の承認、  
 協議：出雲市シルバー人材センターの財政見直し  
 その他：B級野菜市の開催期間

第7回(H30.12.11、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)  
 報告：事業実績、業務報告、監査結果報告書、B級野菜市開催状況  
 議案：正会員の承認、第9回定時総会の開催、事務費規程の改定  
 協議：生涯現役促進地域連携事業、平成31年度事業計画書及び収支予算書

第8回(H31.1.15、センター、理事9名中7名出席、監事2名中2名出席)  
 報告：事業実績、業務報告、センター労働組合との交渉結果、事故報告  
 議案：正会員の承認、生涯現役促進地域連携事業への参画  
 協議：平成30年度地区班会議の開催、平成31年度事業計画書及び収支予算書

第9回(H31.2.12、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)  
 報告：事業実績、業務報告、監査結果報告書、地区班会議の開催結果、  
 議案：正会員の承認、役員立候補管理委員会委員の選任、平成30年度第2回  
 補正予算  
 協議：平成31年度事業計画書及び収支予算書、

第10回(H30.3.12、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)  
 報告：事業実績、業務報告、安全就業委員会の開催結果、第1回役員立候補管  
 理委員会の開催結果、  
 議案：正会員の承認、第3回補正予算、平成31年度事業計画書及び収支予算  
 書、作業班に関する要綱の制定、派遣職員及びセンター職員衛生管理規  
 則の制定、高年齢事務局長の雇用、  
 協議：センターの財政見直し

表 34 平成30年度 理事・監事名簿

役職	氏名	所属委員会(○印は、委員長)	就任
理事長	中尾一彦		H27.2
副理事長	長廻國夫	○理事・監事候補者選考委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H21.5
副理事長	嘉藤馥美	○中期事業基本計画策定推進委員会、女性就業推進部準備会、理事・監事候補者選考委員会	H26.5
常務理事	佐藤 茂	中期事業基本計画推進委員会、	H25.5
理事	原 重利	○安全就業委員会、普及啓発促進委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	青木敏男	○地区委員会、適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	高野郁夫	○普及啓発促進委員会、就業開拓推進委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H28.6
理事	三島壽治	○就業開拓推進委員会、安全就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H28.6
理事	高橋充男	○適正就業委員会、地区委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H28.6



役職	氏名	所属委員会(○印は、委員長)	就任
監事	中島健二		H27.5
監事	加納千久		H27.5

任期：平成29年6月6日から平成31年度定時総会終了まで

### (3) 常設委員会

安全就業委員会、適正就業委員会の2常設委員会について、下記のとおり委員会を開催し、協議を重ねました。また、中期事業基本計画推進委員会の所管事項については、理事会の中で協議を行いました。なお、就業開拓推進委員会、普及啓発促進委員会及び地区委員会は、協議事項がなく開催していません。

表 35 平成30年度 委員会開催状況

表 35-1 安全就業委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会(H30.9.18)	原重利、三島壽治、水師末富、神田裕	中尾理事長、佐藤常務理事、高見事務局長、福島補佐
第2回委員会(H31.1.10)	原重利、三島壽治、水師末富、神田裕	中尾理事長、高見事務局長、福島補佐
第3回委員会(H31.3.6)	原重利、三島壽治、水師末富、神田裕	中尾理事長、佐藤常務理事、高見事務局長、福島補佐
第1回70歳到達運転会員面接会(H31.2.14)	原重利、水師末富	福島補佐
第2回70歳到達運転会員面接会(H31.2.15)	三島壽治、神田裕	福島補佐
第3回70歳到達運転会員面接会(H31.2.18)	原重利、水師末富	福島補佐
第1回80歳到達会員面接会(H31.2.19)	三島壽治、神田裕	福島補佐
第2回80歳到達会員面接会(H31.2.21)	原重利、水師末富	福島補佐
第3回80歳到達会員面接会(H31.2.22)	三島壽治、神田裕	福島補佐

表 35-2 中期事業基本計画推進委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会(H30.7.9理事会)	嘉藤馥美、長廻國夫、原重利、高野郁夫、三島壽治、高橋充男、佐藤茂	中尾理事長、高見事務局長
第2回委員会(H30.8.7理事会)	嘉藤馥美、長廻國夫、青木敏男、原重利、高野郁夫、三島壽治、高橋充男、佐藤茂	中尾理事長、高見事務局長
第3回委員会(H30.10.9理事会)	嘉藤馥美、長廻國夫、青木敏男、原重利、高野郁夫、三島壽治、高橋充男、佐藤茂	中尾理事長、高見事務局長
第4回委員会(H31.3.12理事会)	嘉藤馥美、長廻國夫、青木敏男、原重利、高野郁夫、三島壽治、高橋充男、佐藤茂	中尾理事長、高見事務局長

表 35-3 適正就業委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第 1 回委員会 (H30. 7. 18)	高橋充男、青木敏男、鶴原清、中島絹夫	中尾理事長、佐藤常務理事、高見事務局長、
第 2 回委員会 (H30. 8. 23)	高橋充男、青木敏男、鶴原清、中島絹夫	中尾理事長、佐藤常務理事、高見事務局長、
第 3 回委員会 (H30. 10. 3)	高橋充男、青木敏男、鶴原清、中島絹夫	中尾理事長、高見事務局長、高橋課長

(4) 理事及び監事候補者選考委員会

平成 30 年度は案件がなく、開催していません。

(5) 監査会

組織改革及び事務改善の実が上がってきたことにより、平成 30 年度は、四半期ごとの開催を基本とし、4月、7月、10月、1月の計4回の定例監査会と総括監査会(H30. 5. 7、平成 29 年度会計対象)を1回の、合わせて5回の監査会を開催しました。なお、事務局では、指摘された事項については、可及的速やかに改善措置をとるようにしています。

表 36 平成 30 年度 定例監査会での指摘事項

定例監査会	主な指摘事項
第 1 回 (H30. 4. 17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1. 収支相償①当期経常減額の増加、これに伴う②経常収益率の低下、10. 補助金人件費率、11. 人件費率の増加などが顕著であること</li> <li>・ シルバー派遣事業による就業範囲である「臨時的かつ短期的就業」の範囲を超過する可能性の高い実態があること</li> </ul>
第 2 回 (H30. 7. 20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に指摘事項なし</li> </ul>
第 3 回 (H30. 10. 16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故防止対策</li> <li>・ 請負業務の大幅な落ち込みについて</li> </ul>
第 4 回 (H31. 1. 24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業時における「会員による安全点検の実施」の検討。</li> <li>・ 特定の会員に就業の偏りが見られることについて</li> </ul>

## 12 規程等の整備状況

公益社団法人としての基本の定めが定款で、いわばシルバーの「憲法」ともいえるものですが、組織経営・事業運営をするうえでは、より詳細な取り決めが必要となります。これが各種の規約、規程、規則、要綱などで、実務は、これらの規程等に依拠して行われます。しかし、規程等が欠けていたり、内容が不備のままであったりしては日常業務を適切に行うことはできません。

センターの規程等については、必要なものが制定されていない、長年放置され必要な改正等が行われていない、規程等の間での用語や記述・表記に整合性を欠くものがある

など不備な状況となっていました。

こうしたことから、逐次、規程等の制定・改廃を行ってまいりましたが、未整備の規程等がまだあることから引き続き、適切な法制環境の整備に努めてまいります。

表 37 センターの現行規程等一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
1 定款	1 定款	H25. 4. 1	H27. 2. 3
2 総規	1 情報公開に関する規則(H29. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H24. 4. 1
2 総規	2 顕彰規程	H17. 4. 1	H28. 4. 1
2 総規	3 慶弔費支給規程(H29. 5. 9 廃止)	H17. 4. 1	H17. 4. 1
2 総規	4 情報公開事務取扱要綱(H29. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H17. 4. 1
2 総規	5 個人情報の保護に関する規程	H18. 4. 1	H18. 4. 1
2 総規	6 規程等の整備に関する規程	H27. 12. 8	H27. 12. 8
2 総規	7 特定個人情報事務取扱規則	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	8 特定個人情報取扱基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	9 個人情報保護基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	10 情報公開に関する規程	H29. 4. 1	H29. 4. 1
3 会員	1 会員の就業規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	2 配分金規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	3 縁結び会員に関する規程(H28. 3. 31 廃止)	H19. 4. 1	H19. 4. 1
3 会員	4 会員会費規程(H28. 3. 31 廃止)	H25. 4. 1	H27. 4. 1
3 会員	5 会員会費規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	1 理事及び監事候補者選考要綱	H17. 4. 1	H23. 10. 1
4 役員	2 理事の職務権限規程(H27. 7. 14 廃止)	H25. 4. 1	H25. 4. 1
4 役員	3 役員の報酬等及び費用に関する規程	H25. 4. 1	H30. 6. 1
4 役員	4 執行役員会開催要項	H27. 10. 29	H27. 10. 29
4 役員	5 役員立候補の手續に関する規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	6 役員立候補管理委員会要綱	H29. 3. 14	H29. 3. 14
5 総会	1 総会運営規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
6 理事会	1 理事会運営規程	H27. 8. 11	H28. 6. 14
6 理事会	2 理事会傍聴規則	H27. 8. 11	H27. 8. 11
7 組織	1 地区班組織設置要綱	H17. 4. 1	H28. 12. 13
7 組織	2 職群班組織設置要綱(H31. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H26. 9. 11
7 組織	3 地区委員会設置規程(H28. 7. 12 廃止)	H17. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	4 安全・適正就業対策委員会設置規程(H28. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	5 適正就業基準(就業のガイドライン)(H28. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H26. 12. 1
7 組織	6 審査会内規(H28. 3. 31 廃止)	H17. 4. 1	H23. 4. 1
7 組織	7 普及啓発委員会設置規程(H28. 7. 12 廃止)	H17. 4. 1	H28. 4. 1

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
7 組織	8 中期事業基本計画推進委員会設置規程 (H28. 7. 12 廃止)	H17. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	9 就業開拓推進委員会設置規程 (H28. 7. 12 廃止)	H19. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	10 地区班会議開催要項	H27. 10. 13	H27. 10. 13
7 組織	11 安全就業委員会設置規程 (H28. 7. 12 廃止)	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	12 適正就業委員会設置規程 (H28. 7. 12 廃止)	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	13 安全就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	14 適正就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	15 作業別安全就業基準に関する要領	H29. 2. 14	H29. 2. 14
7 組織	16 委員会設置規程	H28. 7. 12	H28. 7. 12
7 組織	17 地区班交付金規則	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	18 女性部会規程	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	19 作業班に関する要綱	H31. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	1 財務規程	H17. 4. 1	H29. 4. 11
8 事務	2 事務局規則 (H27. 10. 13 廃止)	H17. 4. 1	H23. 4. 1
8 事務	3 事務処理規程 (H27. 10. 13 廃止)	H17. 4. 1	H17. 10. 11
8 事務	4 事務処理運営要綱	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	5 車両運行管理規程 (平成 30 年 3 月 31 日廃止)	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	6 旅費規程	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	7 事務費規程	H25. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	8 補助金等交付規則	H27. 4. 1	H27. 4. 1
8 事務	9 委員会委員の報酬及び旅費の支給に関する規則	H27. 8. 11	H29. 3. 14
8 事務	10 事務規程	H27. 10. 13	H29. 4. 1
8 事務	11 事務局業務の一部を会員に依頼する場合の取り扱いに関する要項	H27. 11. 1	H30. 7. 9
8 事務	12 特定費用準備資金等取扱規程	H28. 3. 8	H28. 3. 8
8 事務	13 会議出席者に対する報酬及び旅費の支給に関する規則	H28. 7. 12	H28. 7. 12
8 事務	14 センター所有車両運行管理規程	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	15 除草及び剪定請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則 (廃止)	施行せず	施行せず
8 事務	16 除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	17 損害賠償事案処理事務手数料徴収規則	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	18 B 級野菜市実施要項	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	19 空家等点検サービス実施要項	H30. 4. 1	H31. 4. 1
9 職員	1 職員就業規則	H17. 4. 1	H29. 3. 14
9 職員	2 職員給与規則	H17. 4. 1	H30. 1. 15
9 職員	3 臨時職員に関する規程 (H28. 6. 13 廃止)	H17. 4. 1	H27. 4. 1
9 職員	4 職員退職金規程 (H28. 6. 13 廃止)	H17. 4. 1	H17. 4. 1
9 職員	5 職員採用試験規程 (H28. 6. 13 廃止)	H17. 4. 1	H17. 4. 1

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
9 職員	6 パート職員の就業に関する規程(H28. 6. 13 廃止)	H20. 4. 1	H27. 4. 1
9 職員	7 高年齢事務局長の採用等に関する規程(H28. 6. 13 廃止)	H27. 2. 23	H27. 2. 23
9 職員	8 嘱託職員雇用規則	H28. 4. 1	H30. 4. 1
9 職員	9 臨時職員規則	H28. 6. 14	H30. 4. 1
9 職員	10 職員退職手当要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	11 職員採用試験規程	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	12 パート職員規則	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	13 高年齢事務局長の採用等に関する規則	H28. 6. 14	H30. 6. 1
9 職員	14 職員福利厚生要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14

## 13 事務局

### (1) 事務局体制

事務局体制は、事務局長並びに管理課及び業務課の2課体制で業務運営を実施しました。また、「適正就業ガイドライン」による除草請負業務の見積基準に基づく見積調査実施のため2名の臨時職員を配置、繁忙期(7～10月)にはもう1名臨時職員を雇用しました。

派遣事業の実績が大きく伸びてきて、契約する事業所数も約70社となり、現行人員の中で派遣事業の体制を強化し業務を推進しました。

厳しい財政状況を打開することと、適正就業を徹底していくことの両立を図ることは大変なことですが、業務全般を考慮し、適宜、事務分担を見直していくなど、効率的な事務執行に努めてまいりました。来年度も引き続き、組織体制について検証し、見直すべきところは見直し、事務局運営の更なる改善を図っていきます。

表 38 平成 30 年度 職員名簿

役職名	氏名
事務局長	高見英明(管理課長事務取扱)
業務課長	高橋正樹
管理課課長補佐	福島勉(兼業務課長補佐)
業務課主任	勝田善富(兼管理課主任)、松井秀美(兼管理課主任)
管理課主任	吉田崇裕(兼業務課主任)
嘱託職員	坂根秀樹、青木祐美、芦田美千代
臨時職員	持田清次、吉田正弘、高橋智子、藤江廣一、坂根洋二、足立一博、渡部利雄(H30. 7～10月)

### (2) 30周年記念事業

収支相償による30周年記念事業及び施設改修積立資産については、県とも協議

し、目的外(財政運営資金)の取り崩しを行い、赤字補填に充当しました。

以上